

# 平成28年度第3回奈良県学校・地域パートナーシップ事業

## 地域コーディネーター連絡会実施報告

- 1 日時 平成29年1月10日(火) 14:30~16:00
- 2 会場 県立教育研究所 中講座室1
- 3 参加者 県内学校・地域パートナーシップ事業 地域コーディネーター等 計 81名
- 4 内容 14:30~14:35 開会  
14:35~15:55 情報交換ワークショップ  
人権・地域教育課 指導主事 畑守伸昭  
15:55~16:00 閉会

### 5 情報交換ワークショップ概要 ~奈良県における地域コーディネーターの役割~

#### ◆「地域コーディネーター」とは？

=「地域と共にある学校づくり」を進めるにあたり、学校と地域人材（ボランティア等）、地域人材間の連絡・調整を行い、実質的な運営を担う地域人材。

#### ◆【ワークショップ1：学校や地域との関係における役割】

テーマ1「学校と関わっていくときに大切にしてきたこと」

テーマ2「地域と学校を結んでいくときに大切にしてきたこと」



〈最初うまくいかなかった・苦労したこと〉

- ①新しいボランティアを見つけることが難しい
- ②コーディネーターになる方が見つからない
- ③熟議が不足している／学校の教員との情報交換が十分に行えない／学校と活動内容を決めるのが難しい
- ④ボランティアと教職員との接点が少ない
- ⑤教員によっては、教室にボランティアを入れることに抵抗感がある
- ⑥教職員が、ボランティアに何をしてもらうか定まっていない …等

〈乗り越えていった方策〉

- ①PTA会長に、親世代へのボランティア参加の呼びかけをお願いすると増えた
- ②ボランティアとして活動の手伝いをしてもらう中でコーディネーター候補者を広げていく
- ③学校に入りやすい活動（美化運動、園芸等）から始めて関わりをつくり、まずは管理職と話のできる関係になる
- ④一緒に作業をする活動があったことで、距離感が縮まった
- ⑤学校にボランティアがしたいことを押し付けない
- ⑥学校のニーズをしっかりと把握する …等

#### ◆【ワークショップ2：自分にとって理想的な地域コーディネーターとは】

- ・無理なく自分が楽しんで出来る人
- ・縁を大切に出来る人
- ・感謝の気持ちをいっぱい持っている人
- ・見返りを求めず奉仕できる人
- ・多様な「もの・ひと・こと」を受け入れられる人／柔軟な発想を持っている人
- ・情熱がある人
- ・子どもたちの視野を広げられる人
- ・子どもの成長を見守り、楽しむ人
- ・子どもの主体性を尊重し、その個性を伸ばせる人
- ・地域や子どもの将来まで考えられる人
- ・地域愛のある人
- ・学校の立場が理解できる人／思いを学校と共有し、共に活動できる人 …等

☆このようなコーディネーターをどのように探し、増やしていくのか？

- ・地域には、専門的な知識を持っている人、ボランティアをしたい人はたくさんいる。広報のやり方次第。
- ・学校と一緒に地域をよくするという思いを、校区の住民に様々な機会に伝える。
- ・PTAとつながりをもつ。



0% ワークショップの内容は？



3% 今後に活用できるか

